

「第2次大分市観光戦略プラン（素案）」の市民意見公募で寄せられた意見等の概要と
それに対する本市の考え方

意見募集期間：令和4年1月14日～2月13日

募集提出者数：4名

意見件数：5件

番号	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>大分に来て良かった！また来たい！！と思って頂けるよう以下を提案する。 テーマ：「おおいた街中コンシェルジュ」 内容：観光客に気軽に立ち寄りいただけるブースを設けボランティアコンシェルジュが要望に対応する。（Webでの事前相談も可）希望の場所まで案内する他、観光プランをいくつか作っておき、選んだプランにコンシェルジュが解説付きで案内する。 体調に合わせて休憩を入れたり、乗り物を使ったり観光客の要望に応える。 例：大分半日歴史探訪…府内城跡→遊歩公園→大友宗麟館 大分一日歴史探訪…府内城跡→遊歩公園→大友宗麟館→大分市美術館</p>	<p>本市では、大分駅構内に観光案内所を設置し、旅行者に対し観光コースの紹介や交通案内等の様々な旅のサポートを行っています。また、観光ガイドを希望される方に対しては、事前予約により、観光ボランティアガイドが地域の歴史や文化等を解説付きで案内しています。</p> <p>こうした取組の充実を図るため、基本方針6において、観光ボランティアガイドのスキルアップ研修などによる人材育成や、観光案内所の案内機能向上やスタッフの人材育成を図ることとしております。また、リーディングプロジェクト③では、多様なニーズに対応したきめ細かい着地型観光情報の充実に取り組むこととしております。</p> <p>ご提案の取組も参考にさせていただきながら、旅行者の受入環境の充実に努めてまいります。</p>
2	<p>観光地の順番をあらかじめ決めて、順番にまわった時の所要時間や入場料の合計などを算出し、そのコースのセット料をまとめて販売する。 ※歩きコース、子連れコース、一泊コース など 観光地から観光地までの所要時間表を作る。 駐車場マップを作る。 ※そのお店で千円買ったら1時間駐車して近くを散策できる など 喫茶店巡りマップ</p>	<p>ご提案の取組も参考にさせていただきながら、旅行者の受入環境の充実に努めてまいります。</p>

3	<p>一人旅と現代アートが好きで、瀬戸内国際芸術祭を見るために香川県高松市に何度か行った。高松市の中心街に「まちのシューレ963」という素敵なわざわざ立ち寄りたい店舗がある。HPには「カフェ、ギャラリー、生活雑貨、工芸品、食品など、さまざまなテーマを持ったゾーンに分かれ、それぞれが生活に結びついた確かなものを提案いたします」とあり、いろんなコンテンツが集約され、香川を中心としたセンスある商品がたくさんあり、観光客だけではなく地元の人も楽しめるお店である。</p> <p>大分市の街中には最近飲食店は増えているし（むしろ小売店が減っている）、駅ビルを中心に県外資本のチェーン店も増えているが、ちよくちよく立ち寄りたくなくなりゆっくりできるライフスタイルショップが実感としてあまりないように思う。食を提供する場所はたくさんあるので、「まちのシューレ963」のような場所があれば、地元に誇りが持て、地元住民の日常使いでも旅行中でも楽しめるのではないかと。</p>	<p>市民一人ひとりが郷土に誇りを持ち、本市の魅力を伝える観光まちづくりに参加していただくことは重要でありますことから、基本方針6において、市民が地域資源の魅力を再認識し、地元の観光を支える機運の醸成を図ることとしております。また、リーディングプロジェクト③では、多様なニーズに対応した「旅ナ力」での着地型観光情報の充実を図ることとしております。</p> <p>今後とも、地域や団体等各主体との連携を通して旅行者に対するおもてなしの機運の醸成を図り、住民の参加と理解による観光地づくりに取り組んでまいります。</p>
4	<p>高崎山はわが国最初の国立公園のエリアにあり、高崎山のサルは国の天然記念物に指定されている。また、高崎城は開発の手が入っていない国内有数の規模を誇る中世の山城の姿をとどめていると聞いている。</p> <p>一過性でない持続的な観光資源の掘り起こしや磨き上げには、ポテンシャルが必要であり、何よりも本物志向であることが求められるものと考えます。</p> <p>加えて、多彩な情報発信媒体を活用していくうえで、問われていくものがそのコンテンツとなる。</p> <p>本物志向というインパクトは、市内外、国内外の観光客に十分な訴求力を有していると思う。そのような柱や文脈を計画に盛り込んでいただければと考える。</p>	<p>ご意見を参考にさせていただき、観光資源が持つポテンシャルを明確にするため、高崎山自然動物園や高崎城跡に関する文言を修正いたしました。</p>
5	<p>「東アジア重点4か国」の表現は、行政の計画として策定するのであれば、「東アジアの4つの重点国・地域」が妥当と思われる。</p>	<p>ご指摘のとおり文言を修正いたしました。</p>